

事後評価シート

調査研究課題名	持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究
担当者	前主任研究官 十河久恵、研究官 奥井健太、研究官 中村卓央、研究官 大内健太
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、国際機関や海外の観光先進地域の取組みに着目し、地域住民の目線を中心に外国人旅行者の急増に伴う問題及びその対応策等を調査することを通じ、今後望まれる持続可能な観光政策のあり方の検討に資することを目的として実施した。</p> <p>具体的には、①「持続可能な観光」の概念を整理した上で、国内外の「持続可能な観光に関する先行研究等」を収集し、持続可能な観光における視点等を整理した。その後、②我が国において外国人旅行客急増に伴って発生した、特に地域住民や地域社会に影響を及ぼしたと考えられる問題事例と、自治体・DMOの観光計画における施策等を収集し、それらを①で整理した持続可能な観光における視点等に沿って整理し、「我が国における持続可能な観光に係る動向」をまとめた。③②で整理した問題事例と観光計画における施策等とを比較・分析することにより、「我が国における持続可能な観光に向けた課題」を整理した。また、④③で整理した課題への対応策として、海外における先進的な取組事例を調査し、最後に⑤我が国における持続可能な観光政策のあり方についてとりまとめを行った。</p> <p>調査の結果、我が国において持続可能な観光政策のあり方を検討していく上で、「総合的な視点・目線と総合的な施策・取組み」、「問題の個別性と網羅的なチェック機能（データに基づくマネジメント）」、「ネガティブ・インパクトへの早期着眼と受入策と抑制策の組合せによる質の高い観光」についての示唆が得られたところであり、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究は、持続可能な観光について、国際機関における定義や持続可能な観光指標開発の系譜を整理した上で、持続可能な観光に関わる論点や視点、課題等を整理した。また、我が国の観光地で発生している問題事例を新聞記事等から収集し、海外における持続可能な観光に関する視点等に沿って整理するとともに、自治体やDMOの観光関連計画における施策等と比較・検証すること等を通して、我が国の観光施策において不足している視点や今後必要となる視点等の課題分析を試みた。海外事例は、持続可能な観光に関する取組みを行っている地域を既存文献等から調査・整理したほか、現地ヒアリング調査も実施したところである。</p> <p>国内において、持続可能な観光に関する情報を調査・整理した文献や論文等は少なく、本調査研究の成果は、今後我が国において持続可能な観光政策のあり方を検討していく上で、有効な情報を提供し得るものである。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で随時有識者ヒアリングを実施し、有識者からご助言をいただいた。有識者は、持続可能な観光及びそれに係る指標や、観光地域づくり等に知見を有する方々に就任いただき、様々な角度からご意見をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p>
⑤ その他	<p>当研究所が主催する平成30年度研究発表会において、成果の一部について報告を行う予定である。</p>